

# エキノコックス症

かからないための

Q & A



## Q エキノコックス症ってどんな病気？

**A** エキノコックスという名前の寄生虫が、主に肝臓に寄生しておこる病気です。エキノコックスは普通、自然界ではキツネと野ネズミに寄生しますが、エキノコックスの卵が何かの機会に人の口に入ってしまった場合に、感染することがあります。

## Q どんな症状が出るの？

**A** 感染率は他の病気に比べ、ずっと低いとされています。エキノコックスが寄生してもすぐには自覚症状はなく、数年から10数年の潜伏期があります。やがて、肝臓の中で大きなしこりになると次のような症状が現れます。  
▶ 疲れやすい／発熱／腹部の不快感、鈍痛／黄だん

## Q どうやって予防するの？

**A** ▶ 野性の果物や山菜などは、よく洗うか十分熱を加える。  
▶ 小川の生水は飲まない。  
(エキノコックスの卵は、低温には強いのですが熱には弱く、煮沸すれば卵を殺せます)  
▶ キツネの餌になる残飯や生ごみを放置しない。またキツネの餌づけ、キツネを手で触ること、キツネのふんを触ることは絶対にしない。  
(エキノコックスの卵は、キツネと野ネズミのふん便とともに外に排出されます。キツネの体毛にも卵が付いている場合もあります)  
▶ 犬の放し飼いは絶対にしない。  
▶ 外から帰ったら必ず手を洗う。

## Q 早期発見するためには？

**A** 5年に1度検診を受けましょう。(潜伏期間から考えて、対象は主に70歳までの方です)  
血液検査(無料)を毎年、総合健診で実施しています。  
※総合健診は10月4日(火)～6日(木)に実施します。

問い合わせ先／役場保健福祉課健康推進係 ☎ 482-2935 (課直通)

# 地籍調査事業(川湯温泉地区) 現地調査開始のお知らせ

川湯地区では、平成16年度から地籍調査事業を実施しています。今年度は昨年に引き続き、川湯温泉2・3丁目の各一部地区の調査を進めていきます。

作業内容は、現地での調査・測量が中心となります。そのため、町の担当職員や測量業者の方が、皆さんの土地や住宅の付近に立ち入って測量や境界の確認作業を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

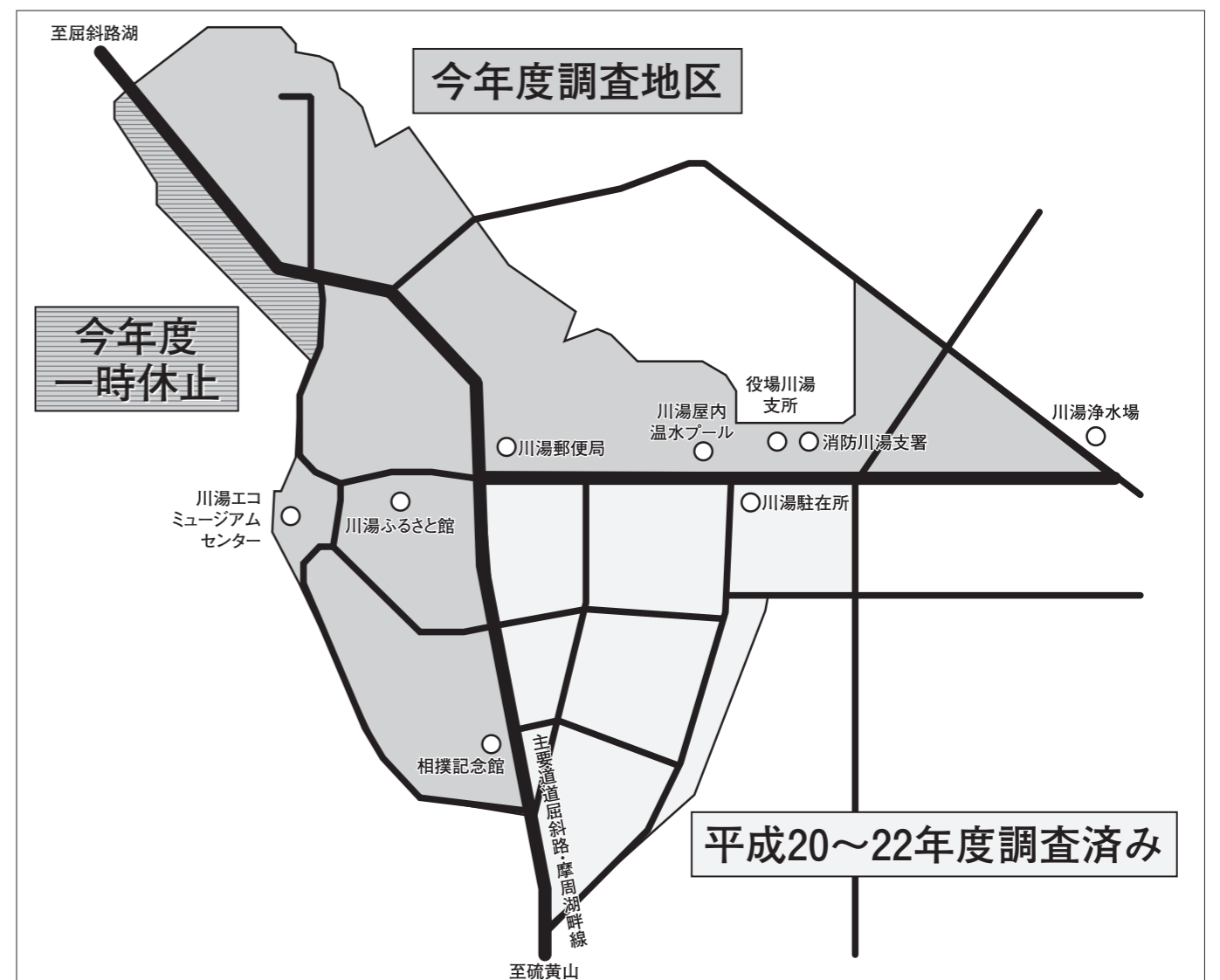
## 今年度の現地作業内容(川湯温泉2・3丁目)

▶ 去年の調査結果をもとに、区域内の土地境界全てに青色の仮杭を設置します。(仮の境界)

- 所有者の皆さんに立ち会っていただき、仮の境界を確認していただきます。
- 境界に関する隣接地所有者の方全員の同意があった場所から、境界を確定させていきます。
- 境界の位置に問題があるなど合意に至らない場合は、協議をしながら調整をしていきます。

※お願い／昨年中、現地にプラスチック杭を埋設しました。これは、測量作業に利用する永久杭であるため、これから設置する仮杭(木杭)とともに、抜いたり移動させたりしないようにお願いします。

※通常は、昨年中に調査した区域を引き続き調査するところですが、今年度は一部区域の調査を一時休止することになりました。休止対象となった土地の所有者の方には、あらためて文書をお送りします。



問い合わせ先／役場建設課地籍用地係 ☎ 482-2941 (課直通)